

文化財保護課・TEL224-6097

鉄砲台を打つ鍛冶職人図大絵馬（幸町金山神社蔵）

幸町金山神社に奉納されたこの絵馬の大きさは、縦六十四センチ、横八十七センチ。私たちが神社などに奉納する絵馬より大きく、大絵馬と呼ばれています。

大絵馬の裏面には「嘉永七寅年二月／高嶋流鉄砲台異国船渡来之節打之奉納 金山大権現／松郷 鍛冶屋万吉」との銘文があります。表面には、今から百五十三年前、松郷にあった鍛冶屋万吉の仕事場が描かれています。松平大和守家の紋所である桐紋を染め抜いたちようちんや幕の中には大砲が置かれ、その前では職人が炭を割っています。中央の金敷では三人の職人が大槌を振るい、厚い鉄板を鍛えています。鞆の前には、弟子たちの仕事ぶりを見守る親方万吉の姿。これは、川越藩に大砲の台座を製作するよう命じられた万吉の鍛冶場の様子です。

嘉永六年（一八五三）のペリー来航により、江戸幕府は品川に台場を築きます。その第一台場の警備を川越藩が命じられました。川越藩は藩内のさまざまな職人を動員し、戦備増強に努めました。万吉も動員された一人だったのです。この絵馬は、無事に台座を製作した万吉が翌年に金山神社に奉納した物と考えられます。



絵馬の表面

この大絵馬は、幕末という動乱の時代の中で揺れ動いた川越藩の様子を、今に伝える貴重な資料です。

市税納期のお知らせ

11月は、固定資産税第3期・国民健康保険税第5期の納期です。

忘れずに納めましょう。

問い合わせ・収税課収税管理担当・TEL 224-5686▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837

どんぐり

編集後記

来年3月末から放送の、NHK連続テレビ小説「つばさ」。11月7日、一番街でロケが行われたあと、記者会見がありました。輝く瞳と笑顔が印象的なヒロイン玉木つばさを演じる多部未華子さん。「町並みがとてもきれいだと実感しました。すてきな川越で、すてきな芝居をしていきたいと思います」と最高のメッセージが発信されました▶ドラマの舞台が川越であることのメリットは計り知れません。市民の皆さんの温かい応援をよろしくお願いします。(KI)

世界の国から、こんにちは！



韓国／須賀景子さん

朝鮮半島南部の釜山の出身です。大きな港町で、日本からフェリーなども来ます。新鮮な魚介類が豊富なため、刺身がとてもおいしいです。また、毎年大きな映画祭が行われています。

14年前に来日しました。初めは都内にいましたが、その後川越に移りました。川越は住みやすいまちで、今では第2のふるさとも思っています。今後は、大学で学んだ心理学をさらに勉強して、青少年の相談などを受けるカウンセラーをしたいと思っています。

*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは11ページ・13ページ、相談は18ページをご覧ください。

国際交流課・TEL224-5506